



船はどうして水の上を走れるの

船がうくわけ

お風呂におけをうかべてみると、おけはうかびます。水には、水の中に入ったものを、うかせようとする力があります。これを浮力といいます。船の重さよりも、うかせようとする力が大きければ、船はうきます。船の重さより、船をうかす力（浮力）が小さくなると、船はしずんでしまいます。

では、鉄でできた船はどうでしょうか。鉄は、水よりも重さがありますから、もしその船が、全部鉄のかたまりでできていたら、しずんでしまいます。しかし、鉄でできているといっても、船は外側や骨組みが鉄でできているだけで、中は部屋など空間がたくさんあります。船の中は、からっぽに近い状態であるといえます。つまり、船の重さよりも浮力のほうが大きいのです。そのため、鉄の船がうくののです。

船が水の上を走れるわけ

船には、大きなエンジンがついています。エンジンの力が、せん風機の羽根によく似たスクリューを回します。スクリューが回ると、水が後ろへおしやられ、そのかわりに船は、前に進みます。こうして船は、水の上を走れるわけです。（監修・青木 国夫）

